









お花の栽培シリーズ「ケイトウ」		
2011年7月	文月(ふみづき)・七夜月(ななよづき)・七夕月(たなばたづき)・相月(そうげつ)・蘭月(らんげつ)・涼月(りょうげつ)・秋初月(あきはつき)	●暑さを防ぐ対策と秋花壇の準備
●蒸し暑い日が続きます。草花もダメージを受けやすい時期です。 ●だからといって水のやりすぎは禁物です。草花が快適にすごせる対策をたてましょう。		
庭木の作業	・コニファーなどの常緑樹の植え替えと整枝の時期。	
草花の作業	・春花壇を片付け、夏花壇へ模様替え ・日陰の場所などに移動させて、あまり水を与えないようにしましょう。	

今月の誕生花	クローバー	
今月の花	花言葉/豊潤・幸運・夢の中・私を守って・約束・私を思い出して	
	<p>クチナシはマメ科の多年草。原産地はオランダ。季節は5～9月。 花の色は、白・淡紅色。 クローバーは、牧草として世界各地で栽培されています。ふつうは3葉ですが、まれに4葉のものがああります。3枚の葉はそれぞれに愛情、希望、信仰を象徴し、4枚目の葉は幸運のシンボルとされます。 属名のトリフォリウムは、ラテン語の「tres(3)」の意。和名のシロツメクサは、江戸時代に輸入品の詰め物として運ばれたことから「シロツメクサ(白詰草)」と呼ばれます。</p>	

お花の栽培シリーズ  
今月の花 ケイトウ

<p>日当たり</p>  <p>日なた</p>	<p>水やり</p>  <p>水を好む</p>	<p>気温</p>  <p>20~25℃</p>	<p>草丈</p>  <p>15~130cm</p>	<p>花色</p>   
--	--	---	---	--

夏から秋にかけての花壇を、燃えるような色でいろどる花です。従来は花冠がニワトリのとさかのような形をしたものが植えられました。しかし、最近はマリのような形に咲く久留米系、羽毛状になるプルモーサ系などが好んで栽培されるようになってきました。高温性の植物です。種まきから育てますが、まく時期は十分に気温が上昇してからにします。また、直根性といって、根が真っ直ぐに深くまでのびます。従って、できれば直まきして移植しない方がよいでしょう。日光を好み、光が少ないと花色が美しくなりません。もし植えつけたら日当たりのよい場所を選びます。苗を作って植えつける場合は、本葉が5枚になるまでに移植するようにしましょう。



●種まきからの育て方



**トサカケイトウ**  
花穂が鶏のとさかのような形をしている  
・矮性トサカケイトウ 花壇や鉢植え向き  
・中高性のトリアドル 花壇にも切花にもOK  
・高性の久留米やコロナ 切花向き

**羽毛ケイトウ**  
羽毛状のふさふさした花穂をもっており  
キャッスル系は、花壇、鉢、プランターともに人気。

**ヤリケイトウ**  
花冠がスギの木の形に似た円錐状をしており  
八千代ケイトウは、この代表的品種。

**玉ケイトウ**  
草たけは1m内外でよく分枝し、その先端に  
3cmくらいの単状の花をつける。



ケイトウは種類が豊富 !!!  
ご紹介します ...



